



2026年4月13日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所2号機における定期安全レビュー（第3回）の結果について

当社は本日、敦賀発電所2号機の定期安全レビュー（第3回）の評価結果をとりまとめましたので、お知らせします。

定期安全レビューは、「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則[※]」に基づき、原子炉施設における保安活動の実施状況及び保安活動への最新の技術的知見の反映状況等を定期的（10年を超えない期間ごと）に評価する活動です。

今回実施した定期安全レビューは、2015年4月から2025年3月までを対象期間として評価を行い、保安活動が継続的に改善され、安全性の維持・向上が適切に図られていることを確認しました。

当社は、今後とも安全確保を最優先に、保安活動を継続して実施・改善していくことにより、発電所の安全性・信頼性の向上に取り組んでまいります。

以上

※「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」の第77条に定期安全レビューの実施が規定されていましたが、2013年12月の改正に伴い当該条文は削除されました。その附則第14条に、原子炉等規制法第43条の3の29に基づく初回安全性向上評価の届出を行うまでは、旧第77条が効力を有することが規定されています。

添付資料 敦賀発電所2号機 定期安全レビュー（第3回）報告書の概要

敦賀発電所2号機 定期安全レビュー(第3回)報告書の概要

1. 敦賀発電所2号機の概要

営業運転開始	1987年2月17日	
運転実績 (営業運転開始から2025年度まで)	累積発電時間	約16.6万時間
	累積発電電力量	約1,923億kWh

2. 評価対象期間

2015年4月から2025年3月まで

(参考) 前回の評価対象期間 (第2回) 2005年4月から2015年3月まで

3. 評価結果

実用発電用原子炉施設における定期安全レビュー実施ガイドライン等に基づき、以下の方法及び項目を定めて評価しました。

(1) 原子炉施設における保安活動の実施状況の評価

「品質保証活動」、「運転管理」、「施設管理」、「燃料管理」、「放射線管理及び環境モニタリング」、「放射性廃棄物管理」、「緊急時の措置及び事故・故障等発生時の対応」、「安全文化育成・維持活動」の8項目について評価しました。評価にあたっては、以下の観点から確認しました。

- ・ 評価対象期間における保安活動について、原子炉施設の安全性・信頼性を維持又は向上させる仕組みが構築されていること。
- ・ 自主的な判断や外部要求により、その仕組みが「組織及び体制」、「社内マニュアル」、「教育及び訓練」、「設備」等の面で改善され、その有効性が確認できること。
- ・ このような取組みが継続的に実施されていること。

評価の結果、国内外の原子力発電所における事故・故障等から得られた知見の反映を含め、自主的な改善が図られていることを確認しました。また、外部評価による改善活動が適切に行われていることを確認しました。

(2) 原子炉施設における保安活動への最新の技術的知見の反映状況の評価

保安活動への最新の技術的知見の反映状況について、「安全研究成果」、「国内外の原子力発電所の運転経験から得られた教訓」、「技術開発成果」の3項目について評価しました。評価にあたっては、以下の観点から確認しました。

- ・ 最新の技術的知見を収集及び反映する仕組みが機能していること。
- ・ 最新の技術的知見が「原子炉施設における保安活動の実施状況の評価」において確認した仕組みに適切に反映されていること。

評価の結果、国内外の原子力発電所の運転経験から得られた教訓等について、最新の技術的知見が設備面や管理面に適切に反映され、安全性・信頼性の向上が図られていることを確認しました。

これらのことから、今後とも保安活動を行う仕組みが機能していく見通しが得られたものと評価しました。

以上